仕様伺書 対象形式: LSMT4

お客様記入	弊社記入	弊社	弊社
形式	JOB No.	検印	検印
貴 社 名	機 番 –		
お名前	営業担当		
注番			

本仕様同書において、ご指定のない場合は標準設定値での出荷になります。

■入力定格設定

●結線方式

いずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。(標準設定:三相3線)

□単相 2 線	□単相 3 線	□三相 3 線	□三相 4 線
_ 1 10 = 141	_ 1 15 4 141		

● VT 設定

VT を使用する場合のみ、一次側の電圧を 50 ~ 400 000 V の範囲で、10 V 単位での数値をご記入下さい。 (標準設定:VT 非使用)

VT の二次側の電圧を下表の範囲で整数をご記入下さい。また、この値は入力定格電圧となります。(標準設定値:110 V)

結線方式	設定範囲					
単相2線	V1 - N 間電圧	$50 \sim 277 \mathrm{V}$				
三相3線	線間電圧	$50\sim480\mathrm{V}$				
単相3線	V1 - N 間電圧	FO - 077 V				
三相4線	相電圧	$50\sim 277\mathrm{V}$				

二次側(入力定格)	V
	,

● CT 設定

CT を使用する場合のみ、一次側の電流を $1\sim 20~000~A$ の範囲で整数をご記入下さい。(標準設定:CT 非使用)二次側は製品形式により、1~A または 5~A となり、定格電流となります。

一次側 A

●入力定格電力

いずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。

□標準	□補正なし
_ 124. 1	

・標準を選択した場合

VT二次側 (入力定格) × CT二次側 (1または5) × a を CT二次側の 100 倍の値の整数倍にまるめた値を入力定格電力とします。 (a = 単相 2 線: 1、単相 3 線: 2、三相 3 線: 2、三相 4 線: 3)

計算例

結線方式	定格	入力定格電力
単相2線	110 V / 5 A	500 W
平相 2 楙	220 V / 5 A	1000 W
単相3線	110 V / 5 A	1000 W
三相3線	110 V / 5 A	1000 W
	220 V / 5 A	2000 W
三相4線	220 V / 5 A	3500 W

・補正なしを選択した場合

入力定格電力は以下の式で計算されます。 単相 2 線:電力=定格電圧×定格電流 単相 3 線:電力=定格電圧×定格電流×2 三相 3 線:電力=定格電圧×定格電流×√3 三相 4 線:電力=定格電圧×定格電流×3

■出力設定

●出力信号割当て

標準から変更がある場合のみ、ご記入下さい。

計測項目は、I:電流、V:電圧、W:電力、VA:皮相電力、var:無効電力、PF:力率、Hz:周波数が選択可能です。 三相 4 線は、相電圧 V1N、V2N、V3N も選択可能です。

使用しないチャネルは"一"をご記入下さい。

・単相2線

チャネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
標準	I1	_	_	V1N	_	_	W	var	PF	Hz
お客様指定										

単相3線

チャネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
標準	I1	IN	I3	V1N	V3N	V31	W	var	PF	Hz
お客様指定										

・三相3線、三相4線

チャネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
標準	I1	I2	I3	V12	V23	V31	W	var	PF	Hz
お客様指定										

●アナログ出力リミット

いずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。

□なし(標準)	機器本来の限界(-5 ~ +105 %)まで出力します。
□あり	-1~+101% の範囲で出力します。

注)折れ線テーブルを使用する場合は、アナログ出力リミットの指定は無視し、折れ線テーブルで設定した通りに出力します。

●出力レンジ設定

・電圧

電圧の入力レンジ 100 % 側を、線間電圧は 50 ~ 480 V、相電圧は 50 ~ 277 V の範囲で整数をご記入下さい。 0 % 側は 0 V になります。 (標準設定値: 150 V)

V

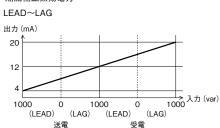
・電流、電力、力率、周波数 入力レンジを下表にご記入下さい。電流、電力については、入力定格を1(100%)として、それに掛ける係数を記入します。 電力の入力定格は、「定格入力電力」の項で設定した値になります。

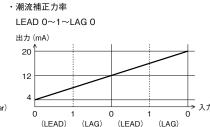
		出力レンジ						
入力仕様		出力0%			出力 100 %			潮流 (標準:なし)
		係数	範囲	標準	係数	範囲	標準	(標準・なり)
電流	N / A		$0.0000 \sim 0.2000$	0.0000		$0.5000 \sim 1.2000$	1.0000	N/A
電力	N / A		$-1.2000 \sim 0.2000$	0.0000		$0.5000 \sim 1.2000$	1.0000	負の係数にて
皮相 電力	N / A		$0.0000 \sim 0.2000$	0.0000		$0.5000 \sim 1.2000$	1.0000	N / A
無効電力	\square 0 \sim LEAD		$-0.2000 \sim 0.0000$	0.0000		-0.5000 ~ -1.2000	-1.0000	N/A
	\square 0 \sim LAG		$0.0000 \sim 0.2000$	0.0000		$0.5000 \sim 1.2000$	1.0000	N / A
	□ LEAD ~ LAG(標準)		-0.4000 ~ -1.2000	-1.0000		$0.4000 \sim 1.2000$	1.0000	□あり□なし
	\square LAG \sim LEAD		$0.4000 \sim 1.2000$	1.0000		-0.4000 ~ -1.2000	-1.0000	□あり □なし
力率	☐ LEAD 0.5 ~ 1 ~ LAG 0.5 ☐ LAG 0.5 ~ 1 ~ LEAD 0.5 ☐ LEAD 0 ~ 1 ~ LAG 0 ☐ LAG 0 ~ 1 ~ LEAD 0	標準:LEAD 0.5 ~ 1 ~ LAG 0.5						□あり □なし
周波数	☐ 45 ~ 65 ☐ 45 ~ 55 ☐ 55 ~ 65	標準:45 ~ 65 Hz						N / A

潮流補正無効電力と潮流補正力率の相関は下図のようになります。

●出力例

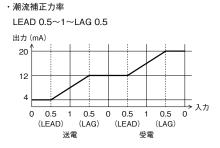
·潮流補正無効電力





受電

送電



・電力量パルス

電力量は、一次側の電力に応じて下表からいずれか一つを選択し、 \square に印をご記入下さい。 設定値は Wh と varh 共用となります。出力チャネルは 11 = Wh、 12 = varh の固定です。 一次側の電力は以下の式で計算されます。

単相 2 線:電力=一次電圧×一次電流

単相3線:電力=一次電圧(相電圧)×一次電流×2

三相 3 線:電力=一次電圧×一次電流× $\sqrt{3}$

三相 4 線:電力=一次電圧(相電圧)×一次電流×3

一次側電力(kVA)	設定可能なパルス単位(Wh および varh / pulse)					
10 未満	1 k	0.1 k	0.01 k	0.001 k		
10~100 未満	10 k	1 k	0.1 k	0.01 k		
100~1000未満	100 k	10 k	1 k	0.1 k		
1 000 ~ 10 000 未満	1 M	100 k	10 k	1 k		
10 000 ~ 100 000 未満	10 M	1 M	100 k	10 k		
100 000 以上	100 M	10 M	1 M	100 k		
お客様指定				□標準		

●無効電力符号設定

無効電力および力率の潮流(送電)なし設定時の、潮流入力時特性を設定します。 潮流付近まで使用する場合は下図をもとにご指定下さい。

(IEC の対応はファームウェアバージョン 1.3 以降)

□標準(IEC) □ SPC

